

高レベルを想定した訓練

令和3年2月19日

小瀬川水防災タイムライン検討会

訓練の実施方法

- ①これから、令和2年7月14日の雨が実際より強く、長く降り続き、大規模な災害が起きた場合を想定した訓練を行います。
- ②状況付与をもとに対応を判断し、必要な情報伝達、防災行動を行ってください。
- ③関係機関への情報伝達、行動の報告はZoomか会場のマイクを通して行ってください。

<検討事項の例>

- ・市、町、消防、警察：逃げ遅れた住民の救出・救護
- ・交通事業者：被災後の復旧
- ・ライフライン事業者：停電・回線停止の周知・対応

訓練の実施方法

【お願い】

- 発言する場合は、はじめに所属機関名を言ってください。

例：「太田川河川事務所です。氾濫発生情報を発令します。」

- 特定の機関へ情報伝達する場合は、最後に連絡先の機関名を言ってください。

例：「和木町企画総務課です。中国電力に市内で停電が発生したことをお伝えします。中国電力さんどうぞ。」
「中国電力です。了解しました。調査に向かいます。」

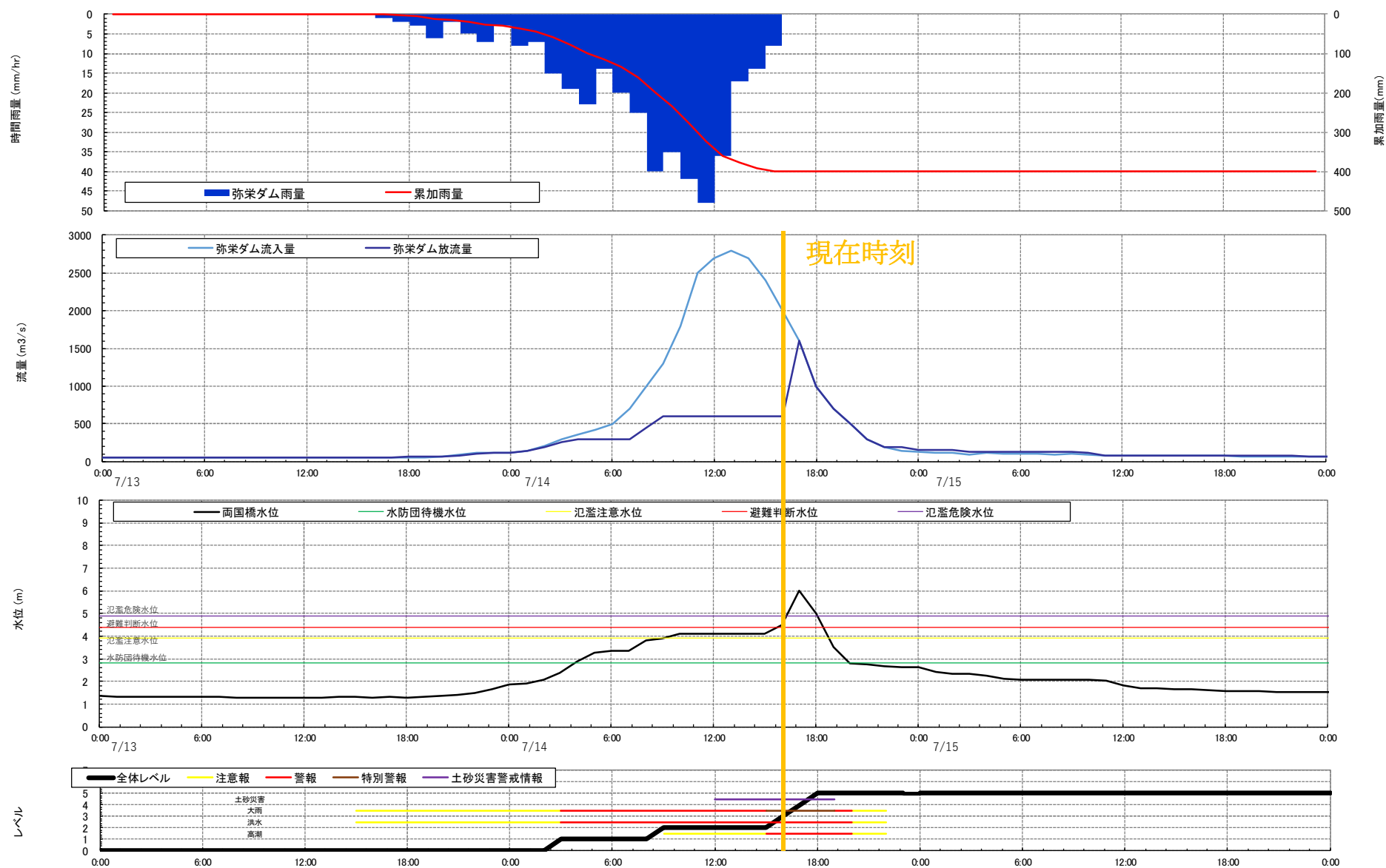
想定する災害

- 令和2年7月14日の雨が強く、長く降り続いた出水を想定します。
- 土砂災害警戒情報が発表され、山間部で土砂災害が発生します。
- 弥栄ダムが異常洪水時防災操作を行い、小瀬川の堤防が決壊します。

【前提条件】

- 訓練開始時は、すでにレベル4になっており、各市町からは避難指示が発令されています。
- 交通機関は、大雨が予想されていることから、計画運休を行っています。
- 住民は避難所に集まっていますが、まだ避難していない住民もいます。
- 弥栄ダムから、異常洪水時防災操作を開始するとの情報が入りました。

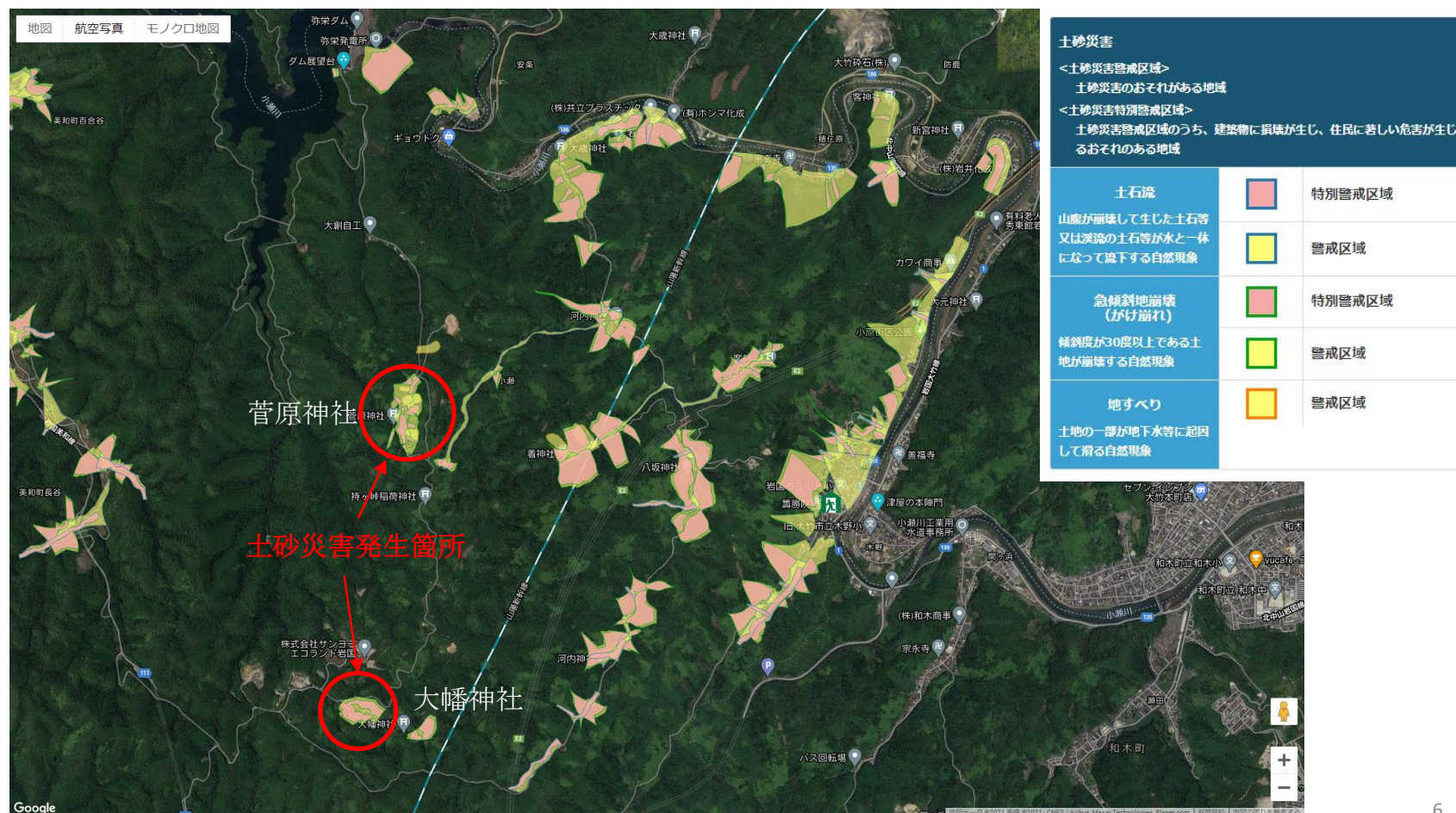
想定する出水



※実際には市町ごとにレベルは異なりますが、訓練のため、統一しています。

状況付与①（岩国市 土砂災害の発生）

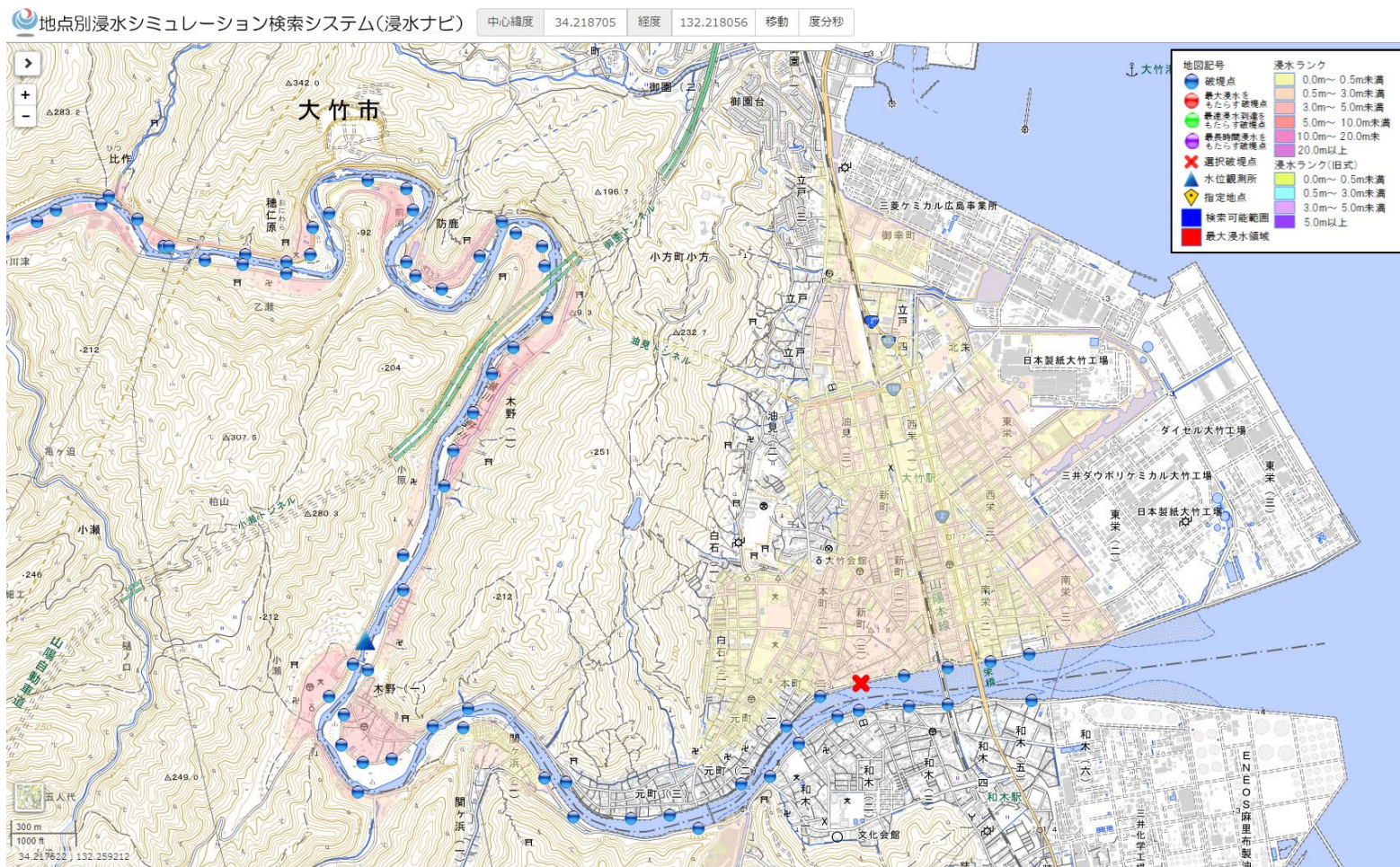
- 岩国市小瀬地区の住民から、岩国警察署に菅原神社付近および大幡神社付近で土砂崩れがあり、道路が寸断され、避難できないとの連絡がありました。一部の住民が孤立している模様です。
- 弥栄ダムからの異常洪水時防災操作が行われる直前ですので、小瀬川沿いの道路を通行することはできません。この状況下での対応を検討してください。
- まずは、岩国警察署からの発言をお願いします。



土砂災害発生想定箇所位置図（出典：Web版岩国市ハザードマップ）

状況付与②（大竹市 小瀬川の破堤氾濫発生）

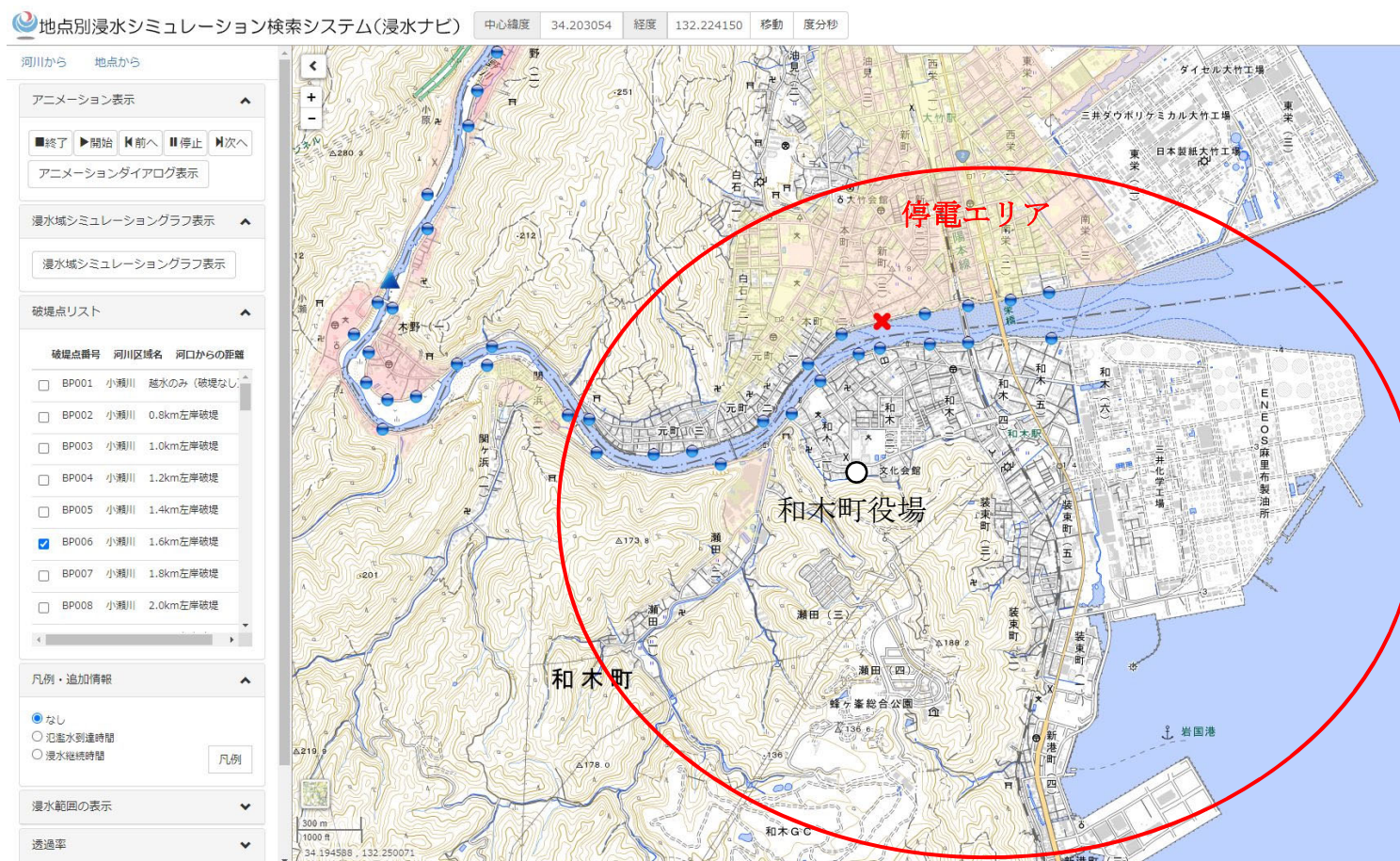
- 大竹市消防本部の職員が小瀬川の左岸1.6k付近での堤防の決壊を確認しました。
- この決壊により想定される浸水深および浸水エリアは下図のとおりです。
- 逃げ遅れた住民の救助・移送、堤防の復旧、氾濫水の排水、氾濫水が引いた後の施設復旧等の対応について検討してください。
- まずは、太田川河川事務所から氾濫発生情報を受信した大竹市から発言をお願いします。



1.6k左岸破堤の最大浸水深図(出典:浸水ナビ)

状況付与③（和木町 ライフライン被害の発生）

- 和木町役場では、付近への落雷により停電が発生しました。周辺の施設も停電し、信号も滅灯している模様です。災害対応や住民対応にあたっている状況の中、停電の発生により、情報収集や情報伝達に支障をきたす可能性があります。
- 事前の対策、復旧の連絡、信号トラブルの対処方法等について検討してください。
- まずは、和木町からの発言をお願いします。



1.6k左岸破堤の最大浸水深図(出典:浸水ナビ)

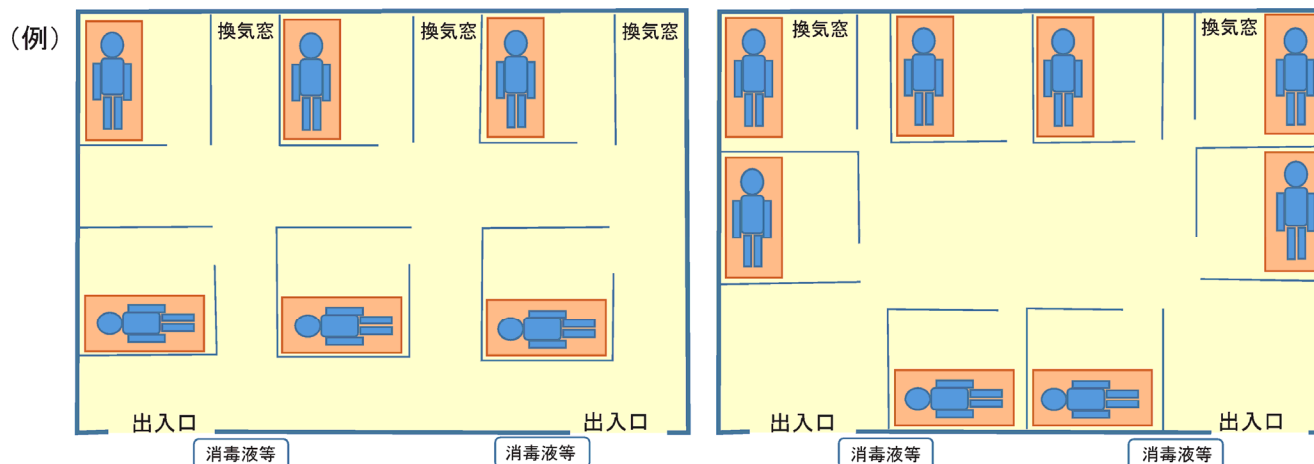
状況付与④（避難所におけるコロナ対策）

- レベル4での避難指示や災害の発生により、避難所には住民が集まってきています。
- 避難所におけるコロナ対策に関して検討してください。
- 大竹市、岩国市、和木町の順で発言をお願いします。

発熱・咳等のある人や濃厚接触者専用室のレイアウト（例）

R2. 6. 10
第2版

- 発熱・咳等のある人及び濃厚接触者は、それぞれ一般の避難者とはゾーン、動線を分けること。
- 発熱・咳等のある人は、可能な限り個室にすることが望ましいが、難しい場合は専用のスペースを確保する。やむを得ず同室にする場合は、パーティションで区切るなどの工夫をする。
- 濃厚接触者は、可能な限り個室管理とする。難しい場合は専用のスペースを確保する。やむを得ず同室にする場合は、パーティションで区切るなどの工夫をする。
※濃厚接触者は、発熱・咳等のある人より優先して個室管理とする。
- 人権に配慮して「感染者を排除するのではなく、感染対策上の対応であること」を十分に周知する。



※飛沫感染を防ぐため、少なくとも座位で口元より高いパーティションとし、プライバシーを確保する高さにすることが望ましい。また、換気を考慮しつつ、より高いものが望ましい。

- ・軽症者等は、予め災害時の対応・避難方法等を決めておくことが望ましいが、避難所に一時的に滞在する場合がある。
- ・感染予防および医療・保健活動のしやすさの観点から、地域における感染拡大状況や、各避難所、活用するホテル・旅館等の状況を踏まえ、防災担当部局や保健福祉部局等の連携のもと、必要に応じて特定の避難者の専用の避難所を設定することも考えられる。

（例：高齢者・基礎疾患を有する者・障がい者・妊産婦用、発熱・咳等の症状のある者用、濃厚接触者用）

※ 発熱・咳等のある人及び濃厚接触者は、マスクを着用する。

※ 上記は全て実施することが望ましいが、災害時において、種々の制約が想定され、出来る範囲で最大限実施することが望まれる。

出典：「避難所における新型コロナウイルス感染症への対応の参考資料」（第2版）について（内閣府）